

めざす学校像・子ども像・教員像		課題	今後の改善策
<p>○子ども一人ひとりを大切に、信頼と愛情に満ちた、ぬくもりのある学校</p> <p>○徳・体・知の調和のとれた国際感覚豊かな子ども</p> <p>○確かな社会性を基盤とする豊かな「人間力」を備え、教育公務員としての自覚と向上心を持ち続ける教職員</p>		<p>登校を渋る傾向にある児童や長期欠席児童が少なからず存在している。</p>	<p>○職員間での要指導・要支援児童の共通理解と情報共有を徹底するため、定期的な報告会やケース会議を定着させる。</p> <p>○SC及びSSWとの連携と効果的な活用を図るため、学校側から積極的な働きかけを行う。</p>
		<p>新学習指導要領に適應した「特別な教科道徳」の實踐化と人権教育との有機的な結合を図る必要がある。</p>	<p>○テーマ研究として、新教育課程に即した教材研究と整理、および研究授業の時間を確保する。</p> <p>○教育実践につながる人権教育研修を行う。</p>
		<p>26年目になる釜山南川初等学校との姉妹校交流の継続発展と、新たに始まる南京曉庄学院附属小学との交流をバランスよく実施する。</p>	<p>○両校との交流を意味あるものにするために、担当者を中心として組織的に計画・実施できる校務分掌の改善をおこなう。</p>
重点目標	指標(取組指標・成果指標)	達成状況についての説明	
<p>円滑に登校できない児童の減少を図る。</p>	<p>QUアンケートや生活アンケート等の結果を分析し、具体的対応を図るための時間が定期的に設定する。</p>	<p>・夏季休業中にQUアンケートの分析と活用についての研修を行い、具体的な生徒指導に生かすことができた。</p> <p>・今年度より設置した教育相談部の定例会議や、週1回の職夕での、各学年からの要支援児童の報告等により共通理解が進んだ。結果としてケース会議が昨年比3倍程度の回数実施され、組織的に生徒指導や特別支援に取組むことができた。</p> <p>・今年度は、理由不明で3日連続欠席の例はなかったが、無連絡の遅刻欠席については、必ず確認作業を行い、事故や事案につながるものを発生させることはなかった。</p> <p>・年度当初に重点化した16名のうち8名は解消したが、欠席が10日を超える児童は30名を超えており、継続した取組が必要。</p>	
	<p>週1回の要支援児童の把握と学年での共通認識、月1回の教育相談部での対応検討を確実に行う。</p>		
	<p>理由不明の欠席は必ず家庭と連絡を取り、3日連続の場合は家庭訪問を必ず行う。</p>		
	<p>円滑に登校できない児童数が前年に比べ50%以上減少する。</p>		
<p>徳育・体育・知育のバランスがとれた国際感覚豊かな児童を育てる。</p>	<p>主題に添ったテーマ研究(道徳)を行い、全ての学級で授業公開を行う。</p>	<p>・道徳教育については、県大会での公開授業や校内での授業公開をすべての学級で実施することができた。道徳教育に関する内部評価では、実践面、児童の変容面ともに9割を超える職員が肯定的に自己評価している。</p> <p>・体力向上については、各学年の課題に添って、学年内で統一した取組を行っている。次年度の結果が期待される。</p> <p>・内部評価では、97.2%の職員が人権教育研修の適切性と有効性を感じている。また、94.4%が人権教育の実践ができていていると回答している。</p>	
	<p>体力テストから得られた結果を分析して、体力向上の具体的な対策を施した取組を2学期から全学年で実施する。</p>		
	<p>部落問題に重点を置いた人権教育研修会を実施し、全職員が人権教育の目的を理解したうえで、各学級で年2回以上の人権学習を実施する。</p>		
	<p>「児童質問紙」の回答等で、言語活動についての肯定的回答が各学年、前年度を5ポイント以上上回る。</p>		
<p>学校管理下における怪我を減少させ、安心安全な学校生活を保障する。</p>	<p>毎月の安全点検や管理職を中心とした定期・不定期の校内巡視等により、瑕疵による事故が0になる。</p>	<p>・危機管理や安全および事故防止意識を高め、丁寧な安全点検を日常的に行った。危険箇所発見の際は速やかに営繕申請や補修を行うなど事故防止に努め、瑕疵による事故は防ぐことができた。</p> <p>・生徒指導部を中心に、全校・学年・学級での指導を重ね、共通した実践が行えている。</p> <p>・発生したけがについては、状況や因果関係等を全職員で共通理解し、再発防止に取組んだ。しかしながら、体育の授業におけるけがなど同様の案件の発生も見られた。</p> <p>・管理下における骨折及び縫合を要するけがは、前年度18件に対し今年度9件と半減した。</p>	
	<p>校内における安全な過ごし方について、全職員での共通理解と共通実践が行われている。</p>		
	<p>学校管理下の事故・事案の原因と課題を全職員で共有し、同様の事故・事案の再発はない。</p>		
	<p>学校管理下における骨折及び縫合を要するけがが、前年度に比べ20%減少する。</p>		
<p>学校関係者評価についての説明(評価委員からの意見・要望・改善に向けた提言等)</p>			
<p>○大きな事故がなく1年間を過ごすことができているのは、安全点検をはじめ日頃からの安全管理があつてこそだと理解できた。</p> <p>○学力については、学校の取組のおかげで平均的には高いが、一部の学習に課題がある子どもたちへの手立てもしっかり講じてほしい。</p> <p>○地域活動への参画が市平均を下回っているのは残念。子どもたちにとって魅力のある内容等、地域としても考えたい。</p> <p>○子どもや家庭の個別課題について、学校は丁寧に取り組んでいる。今後そのような問題はますます複雑化するであろうから、より一層、地域や民生児童委員などと連携して取り組んでほしい。</p> <p>○体力向上は自分の体を守るためにも必要な教育課題である。地域としてもできる協力は惜しまない。しっかり取り組んでほしい。</p> <p>○韓国に加えて中国との交流も始まり、ますます国際感覚豊かな子どもたちが育つと思う。取組に期待する。</p>			